

制作  
真法会研究室

# 真法会研究室

## 研究室案内2024

# 心と力のある法曹になるために

—新制度・新キャンパス下における真法会の強み—

法曹になることだけを目的に学ぼうとする人は、他の道に進んだ方がよほど幸せでしょう。学生時代は目の前の試験ではなく、その先にある未来、すなわち、君たちが心と力のある法曹として永く人生を歩んでいくためにあることを忘れてはなりません。

では、学生時代には一体何をすべきか。それは、ゆるぎない向上心を持って、物事を熟考する姿勢と、試練を乗り越える胆力とを鍛えることです。法律家として本当に良い仕事をするためにはこれらの要素が極めて重要なのです。

とはいえ、こうした内面の強さは、一朝一夕に鍛えられるものではありませんし、自分一人の力で身につくものでもありません。多くの人たちと交流し、議論し、さらに自分の内面に立ち返って熟慮する、といった過程を繰り返すことにより、少しずつ、しかし着実に、足腰の強い実力として醸成されていくのです。

これまで多くの真法会員は、学生時代にこうしたトレーニングを重ねることにより、心と力のある法曹となって、社会の各方面で活躍してきました。そしてこのことは、法曹になるまでの期間短縮を図ろうとする一貫教育コースを始めとした新しい法曹養成制度の下においてこそ、従来にも増して大きな価値を発揮するものといえましょう。合格が早いだけでその後の伸びしろを持たない残念な実例を、私はこれまで、数多くの外部の合格者に見て来ました。早期に合格し、かつ着実な社会的存在として大成できるよう、今の時間を大切に過ごすことが肝要です。

真法会の強みは、まず充実した学習環境、学習制度にあります。室員は学年を越え、日夜議論し合いながら法律学習に励みます。さらに、司法試験合格者や法科大学院合格者による後輩指導が年間カリキュラムに沿って実施されています。このカリキュラムは、決してマンネリ化することなく先輩弁護士たちによって都度ブラッシュアップされてきました。

これらの充実した学習環境、研究室運営を支えるのは、室員相互間、室員と先輩会員間のつながりの深さです。これを象徴するのが毎年実施されている様々な行事です。中でも裁判所と検察庁の見学、弁護士事務所訪問は、実務家の生の姿に触れることができる貴重な体験となります。これらを通して、室員は漠然とした自分の法律家像を明確なものとし、より一層日々の勉強に磨きをかけています。茗荷谷キャンパスに移転した今、先輩会員たちとの距離が物理的にも近くなりましたからこうした交流の密度がより一層高まるでしょう。

真法会は、今年で創立90周年を迎える伝統ある研究室です。どの時代もこうした環境を十分に生かしてお互いに高めあっていく文化を大事にしつつ、時代に即して明るく開かれた学生主体の組織を運営してきたからこそ、全国的に知られた中央大学随一の学術研究団体であり続けています。茗荷谷キャンパスでは地下2階の一番奥にある最も静謐な場所を優先的に割り当てられた真法会の門を叩いてみませんか。



中央大学真法会理事長  
(中央大学法科大学院教授・弁護士)

小林明彦

# 真法会研究室とは

私たち真法会研究室は、学研連に所属する研究室の一つです。その歴史は長く、今年で創立90周年を迎えます。これまで、法曹界を中心に、政財界、学界などにも多くの優秀な人材を送り出してきました。その中には、最高裁判所判事、最高検察庁次長検事、日本弁護士連合会会長など重要な役割を担った先生方もいます。私たち室員は、多くの偉大な先輩方の姿に刺激を受け、自らの志を常に高く持ち勉学に励んでいます。

現在、真法会研究室内の室員は56名(女29名・男27名)です。在学学生は研究室にて、定席での自習学習や室員間での議論を通じて、互いに切磋琢磨して日々の学習に励んでいます。

2023年度司法試験合格者:

18名

2023年度の司法試験では、全学研連2位の18名の合格者を輩出しました。また、直近5年間での合格者名77名という数字は、**全学研連トップ**の成績です。

当研究室出身の法律家:

約650名

真法会研究室出身の法律家は現在、約650名います。そして、真法会研究室には、法律家である先生方と交流する機会が多くあり、自身の将来像についてイメージを膨らませることができる環境が整っています。

## contents

- P1 理事長挨拶
- P2 真法会研究室とは
- P3 司法試験制度について
- P4 カリキュラムゼミ
- P5 学習環境
- P6 研究室生活
- P7-8 年間行事
- P9 合格実績
- P10 法律家からのメッセージ
- P11 経済的バックアップ
- P12 入室試験要綱
- P13-14 あとがき

# 司法試験制度

## 中央大学

中央大学では、令和2年度から新しい法曹コースが始まりました。この法曹一貫コースを利用することで法科大学院と一貫した教育を受け、学部を3年間で卒業することができます。

在学中・後

学部3年間で学  
法曹一貫コース  
学部4年間で学  
法曹一貫コース以外

### 予備試験

司法試験予備試験は、法科大学院を修了した者と同等の学識を有するかどうかを判定する試験です。

合格者には法科大学院修了者と同じく、司法試験受験資格が付与されます。

### 法科大学院

法科大学院は、法曹に必要な学識及び能力を培うことを目的として設置されました。

3年間の未修者課程もしくは2年間の既修者課程のいずれかを修了すると、司法試験受験資格が与えられます。

※2023年から、法科大学院の最終学年で司法試験を受験可能になりました。

### 司法試験

裁判官、検察官、弁護士になる資格を得るための試験です。短答試験と、論文試験があります。

### 法律家へ

## 段階的に学べる 法律学習の強い味方

初めての法律の勉強に不安を感じている方も多いと思います。真法会研究室では、**司法試験やロースクールに合格した先輩方によるカリキュラムゼミ**が組み立てられており、法律を一から段階的に学び、しっかりとした実力を身につけることができます。また、ゼミの前のアンケートによりチューターへ直接、要望を伝えることもできます。

	1年生	2年生
4月中旬 ～ 7月中旬	民法新歓ゼミ	民訴・刑訴 講義ゼミ
9月 (合宿)	民法論文ゼミ	民訴・刑訴 論文ゼミ
8月下旬 ～ 10月中旬	憲法講義ゼミ	商法講義ゼミ
10月中旬 ～ 11月下旬	憲法論文ゼミ	商法論文ゼミ
12月上旬 ～ 3月中旬	刑法講義ゼミ	行政法講義 論文ゼミ
	刑法論文ゼミ	民法・刑法・憲法 答案練習ゼミ

#### 講義ゼミ

真法会オリジナルのレジュメを使い、基礎的な知識の定着を図るゼミです。

#### 論文ゼミ

問題演習を通じて、論文の書き方を学ぶゼミです。実際に答案を書くことで、実践力が身につきます。

#### 答案練習ゼミ

論文を書き、先輩に添削してもらおうゼミです。1対1の指導で、さらなる力を養います。

1、2年生は原則ゼミには参加してもらいますが、一人ひとりの時間割を考慮した日程でゼミを組むので、バイトやサークルとの両立もできます！

# 学習環境

豊かな知識を育む、豊かな環境

## 共同研究室



真法会研究室の扉を開くと、共同研究室があります。室員はここでわからない箇所についてお互いに議論したり、学習の息抜きとして休憩をとったりします。1年生から4年生まで室員間の交流を深めることができる空間です。

パソコン、コピー機、冷蔵庫、電子レンジなどが完備されており設備も充実しています。

## 中部屋

共同研究室の奥の扉を開くと、中部屋があります。中部屋には冷暖房、加湿器、そして全部で61席ある定席には、1席につき2つのコンセントが完備されています。

真法会研究室に入室すると、1人1つ定席が与えられます。定席は快適な環境で、集中して学習に取り組むことができますようになっています。



## 蔵書



真法会研究室には書籍や資料が合計約900冊あります。室員はここから判例集や基本書を自由に閲覧し、借りることができます。

# 研究室生活

## 研究室の運営

真法会研究室では、入室2年目の室員が研究室の運営を担っています。

法曹をはじめとする多くの先輩方と関わることによって、机の上では得られない貴重な経験をすることができます。法曹や企業人となった多くの先輩方が社会に出て役立ったと仰っています！



## 登室集計

登室集計とは室員が研究室に滞在した時間を表に記入する制度のことです。月ごとに登室時間のランキングが発表されるため他の室員がどれほど登室しているかが分かり、室員の勉強のモチベーション維持に役立ちます。



## 共研当番

真法会研究室では、室員が順番に、朝と夕方それぞれ30分程度、研究室の掃除などを行います。これによって、快適な学習環境を確保することができ、室員全体が集中して法律の学習に打ち込むことができます。

## 室費

真法会研究室では、研究室の快適な環境を維持するため、月に3000円の室費がかかります。

# 年間行事



5月

## 新歓スポーツ大会

新入室員は真法会研究室で参加する初めてのイベントです。学年の垣根を超え、チーム対抗でのスポーツで競い合います！

## 司法試験合格者ガイダンス

その年の司法試験に合格された先輩方から学習方法や心構えについてのアドバイスをいただける貴重な機会です。



## 8月・9月 夏季合宿

4泊5日の合宿を行います。ゼミ、自主学習などに集中して打ち込みます。最終日にはBBQ、打ち上げがあり、室員間の交流が深まります。

## ロースクールガイダンス

法科大学院在学中の先輩から各学校の紹介や進学へのアドバイスを知ることができます。



11月

## 創立記念式典

真法会最大の行事であり、普段会うことのできない著名なOB・OGの先輩方と交流できます。今年は90周年の創立記念式典になります！



## 12月 忘年会

年の最後に室員でサッカーやボーリングなどのスポーツとご飯会をします。



3月

## 卒業生歓送会

お世話になった先輩方の門出を祝います。

# 裁判所見学

真法会研究室の先輩方が働く裁判所を訪問し、裁判傍聴や施設の見学をします。

裁判所見学を通じて、法曹三者についての具体的なイメージを持つことができました。

裁判傍聴では、真法会研究室OBの先輩方が実際に担当している裁判を傍聴し、実務の雰囲気を感じることができました。傍聴後には理事長の事務所に訪問させていただき、そこで裁判を担当したOBの先輩方に事件の概要や争点を解説していただきました。実際に法曹として働いている方、ましてや実際に裁判を担当した方から直接お話を伺うことができる機会は本当に貴重で、法曹の魅力を変えて確認できたとともに、法曹になる意思を強く持つことができました。(3年 岡部聖希士)



# 検察庁見学

真法会研究室の先輩方が働く検察庁を訪問し、検察官の業務についてお話を聞いたり施設を見学します。



検察庁見学では、普段私たちが机に向かっていただけでは得られない貴重な経験をさせていただきました。真法会研究室出身の検察官が勤務する検察庁の庁舎を訪れ、事務スペースや取調室を見学したりしました。また、模擬取調べを実演していただいたことで、検察官という仕事に興味を湧くとともに、自分の中にあった検察官という仕事に対する漠然としたイメージを、具体的なものにすることができました。そして最後には、自分と同じ研究室を出て実際に活躍されている検察官のお話を伺うことができ将来のキャリアについて考える上でも大変勉強になりました。

(3年 稲葉礼)

# 弁護士事務所訪問

真法会研究室の先輩方が働く弁護士事務所へ訪問させていただきます。事務所内を見学させていただいたり、お話を聞かせていただきます。

実際に社会でご活躍されている弁護士の先生方に直接お話を伺うことができるのは、普通の大学生活では得難い貴重な経験です。私はお話を伺う中で、法曹に対する漠然としたイメージが解像度の高いものへと変わり、法曹を目指す気持ちがさらに強くなりました。弁護士事務所訪問の魅力は、こうした変化によって、自身の目指すべき姿を見つけることができることにあると思います。第一線でご活躍の素晴らしい先生方からお話を伺うことができるのは、真法会研究室の大きな魅力であると思います。

(2年 大久保智輝)



これら3つの行事は新入室員の夏休み(8月~9月)に実施します。任意参加ですが大半の室員は参加する真法会研究室の伝統の行事です！

# 合格実績

2023年度  
司法試験合格者

18名

2023年度  
予備試験合格者

2名

## 法科大学院合格実績

中央大学法科大学院…6名  
慶應大学法科大学院…7名

東京大学法科大学院…5名  
早稲田大学法科大学院…2名

## 法科大学院合格者の声

桑原慎太郎(法学部法律学科卒業)



東京大学法科大学院(進学先)  
他、  
中央大学法科大学院(全額免除)  
早稲田大学法科大学院

合格!

真法会研究室の1番の魅力は弁護士の先生やロースケールの先輩などOBOGとの繋がりが強いことです。研究室での勉強や、研究室運営に携わることで、様々な先輩方と関わることができます。そして、そのなかで勉強に関することはもちろん、進路や人生に迷ったことにも相談に乗っていただくことができ、常に悩みを悩みのままにせず学生生活が送れます。

また、真法会研究室のカリキュラムゼミは基本七法を網羅的に学び、インプットだけでなく、論文添削のアウトプットも受けられ、法科大学院入試は真法会のゼミで十分対応できることも大きな魅力です。

真法会研究室は法曹を志す人には大きな後押しをしてくれることは間違いなく、また、法曹だけでなく他のキャリアを描くことの後押しもしてくれるので、法曹を目指したい人や、法曹にも興味があり他のキャリアも考えたい人はぜひ真法会研究室の門を叩いてみてください。

皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

福元美吹(法学部法律学科卒業)



東京大学法科大学院(進学先)  
(法曹一貫コース利用)

合格!

法曹コースを利用するうえでの真法会の強みは、カリキュラムゼミと縦と横の繋がりが強いと感じます。皆さんの中には、試験を受けたくても勉強方法が分からないという方がいらっしゃるかもしれません。私自身も入学当時同じ悩みを抱えていました。真法会では、独自のゼミを行っており、2年間で各種試験に必要な知識の習得ができ、勉強方法に迷う心配がありません。また、このゼミは司法試験を受験した先輩方が開講していただくため、合格した先輩方の勉強方法を間近に見ることができます。

さらに、真法会は行事が豊富であることも特徴で、弁護士事務所訪問、裁判所検察庁見学といった、縦の繋がりを活かした行事も数多くあります。実際に法曹として活躍されている真法会出身の先輩方に話を伺うことができ、合格した後まで見据えることができます。

私は真法会に入らなければ、ここまで来ることはできなかったと感じています。皆さんも真法会で様々な経験をしてみてはいかがでしょうか。

# 法律家からのメッセージ

## 【弁護士】

私は、現在、都内の法律事務所で勤務し、企業不祥事の対応など危機管理分野を中心とした企業法務に従事しています。実務に出て1年を過ぎ、ようやく弁護士生活に慣れてきたところですが、真法会研究室での日々を糧に充実した毎日を過ごしております。

真法会研究室には「学問の研鑽」と「人格の陶冶」という2つの理念があり、その理念を体現するための充実した環境が整っています。学習面では、ゼミ等を通じて優秀な先輩方から惜しげもない指導を受けることができ、また、同じ目標に向けて切磋琢磨しあえる同期がいます。そして「縦と横のつながり」が強い真法会研究室では、OB・OGの先輩方との交流の機会や日々の研究室生活等を通じて、社会有為の人材となるための貴重な経験が得られます。「上から受けた恩を下に返す」という風土に支えられた真法会研究室での経験は、実務に出た今でも役立っています。ここでは語り尽くせない真法会研究室の魅力を、ぜひ、皆さん自身で実感してもらえればと思います。皆さんの入室を心よりお待ちしております！

## 【弁護士】

私は現在、東京都内の企業法務を主に扱う法律事務所に勤務し、日々新たな課題に取り組みながら、充実した日々を過ごしています。私は、小学生の時に社会科見学で裁判を傍聴したことをきっかけに、漠然と法曹になれたらいいなと考えていました。

真法会研究室では、目標に向けて努力する同期や優秀な先輩方、先輩方が後輩のためだけに実施してくれる講義、法曹三者の先輩方と身近に交流する機会など、法曹になるために必要な環境がすべて揃っていました。それだけでなく、法曹以外の道で活躍している先輩方のお話を伺う機会もたくさんありました。私はこのような真法会研究室の環境があったからこそ、早いうちから自分の将来を具体的に考えることができ、弁護士になることを決心した後はその環境を生かして迷うことなく進むことができました。

皆さんも真法会研究室で後悔のない将来を選択しませんか？

## 【検察官】

私は、現在、山口地方検察庁で捜査・公判をしています。

検察官の仕事は、被疑者や被害者、目撃者等様々な人の話を聞き、様々な証拠を見て起訴をするかの判断をし、その後の裁判手続を行うものです。

真法会では、法律の専門的知識を身につけることはもちろん、研究室の行事や役職等を通じて他者との関わり合い方を学ぶことができます。私自身、学生時代は、面倒くさいや辛いと思っていた経験が、様々な価値観を持つ人と深く関わる検察官という職業を行うにあたり、とても大切な経験になったと感じています。

また、真法会では、縦横のつながりが強いという強みもあります。

苦しい時に支えてくれる同期がいるだけでなく、検察官になった先輩方から、進路選択の際や仕事で困った際に、アドバイスをいただくこともできます。

みなさんが、真法会研究室で素敵な大学生活を送られることを祈っています。

## 【裁判官】

私は現在大阪地方裁判所に勤務しており、民事訴訟のうち医療訴訟を中心に担当しています。裁判官は、紛争の当事者を仲介し和解を促したり、その請求が認められるのかを判決で示したりして紛争解決に携わります。不利な判断をされることとなる当事者からも納得を得られるように、証拠を分析して紛争の当事者間で実際に何が起こったのかの事実関係を認定したり、文言や趣旨・目的に照らして法律を適正に解釈適用したりするよう努めています。

真法会研究室は、カリキュラムゼミを初めとする学習支援体制、目標に向けて邁進できる環境が整っています。先輩から法律の知識、考え方を指導してもらえたことはもちろん、同期との間で、法律問題を議論し、互いの答案を検討し合ったことが、間違いなく現在の仕事の土台となっています。真法会研究室に入室すれば、きっと共に切磋琢磨して高め合える素敵な仲間に出会えることでしょう。

# 経済的バックアップ

真法会研究室の室員の中には真法会のカリキュラムゼミのほかに、法職茗荷谷研究室のゼミや法職答案練習会なども活用している者もいます。

法職茗荷谷研究室のゼミの受講や法職答案練習会に参加するにも費用がかかります。そこで、経済的な事情で学習の機会を逃すことがないように、真法会研究室では、これら費用の一部を援助しています。



さらに、研究室内のコピー代はコンビニやスーパーなどのお店において置いてあるコピー代よりも安く利用できます。



# 実業友の会

真法会研究室では法曹志望者への支援はもちろんのこと、公務員や民間企業を志望する室員への支援も行っています。

実業友の会とは、主に公務員や民間企業などで活躍する真法会研究室の卒業生により運営される団体です。

実業友の会では、公務員や民間企業への就職を志す室員に対し、多方面で活躍している先輩方による進路指導や、エントリーシートの添削、模擬面接などの就職支援を行っています。

## 【民間企業に就職された先輩のお話】

私は現在、民間企業に就職し、東京港に出入港する船舶の安全と効率的な航行をサポートする、ポートラジオという港湾施設で働いています。

入室当初は漠然と法曹を志望していましたが、様々な分野で活躍されている先輩方との関わりを通して、自分が本当にやってみたい仕事にチャレンジする勇気を頂きました。研究室生活で培った法律の知識や考え方は、海事業界に身を置いた今も大いに役立っています。

もしあなたが進路を決められなくて悩んでいるのなら、それはチャンスです。広い視野を持って真剣に自分の将来を考える後輩に対して、真法会の先輩方はサポートを惜しみません。

実業友の会では、会員同士の交流の場を定期的に設けています。私自身、就職した現在もキャリア形成の悩みなどを相談させていただき、毎回多くの刺激を頂いています。法曹の道と実業の道、どちらの可能性も育てていきたいというあなたにこそ、真法会の門を叩いてみてほしいです。

# 入室試験要項

応募資格 本学1・2年生(学部学科不問)  
募集人員 1・2年生(計20人程度)

一次試験… 4月13日(土)

▶ 論文試験、適性試験

二次試験… 4月21日(日)

▶ 面接試験

～新歓のご案内～

説明会	対面新歓
4月6日、7日、8日 (18:00～19:00)	4月1日、3～6日、 8日 (10:00～17:00)
@オンライン	@5階ラウンジ
※7日は一般論文書き方 講座を行います	

どちらもぜひお越しください！

※本年度の入室試験は一次試験、二次試験どちらも対面で実施いたします。  
※受験される方は、4月21日(日)は 9:00～21:00の時間帯を開けておくようにしてください。  
※詳しくは別紙募集要項をご参照ください。

詳しい試験情報、応募方法については

真法会の公式ホームページ又は公式X(旧Twitter)を参照ください。

その他、公式Xや公式Instagramでは真法会研究室の新歓情報や真法会研究室の魅力が伝わる情報を随時発信中です。



公式X



公式Instagram

# あとがき

このパンフレットを手にして読んでいる皆さんは、司法試験や法曹という職業に少なからず興味があるということでしょう。しかし、そうした目標を達成するためにはどうすればいいのかわからず、漠然とした不安を感じている方もいるのではないのでしょうか。

真法会研究室には、学年を超えて日々語り合い、お互いを高めあうことのできる仲間がいます。ゼミはもちろん、自学自習という面においても肩を並べて共に学ぶことのできる仲間の存在は大きな力となります。

また、真法会研究室では実務家の先生方と交流し、その仕事を間近で見る機会も数多くあります。実務を知ること、自身の将来像をより明確化し、学習意欲を高めていく上で不可欠です。机に向かうだけでなく在学中から法律実務に触れることができるのは、多くの先輩法律家との強いつながりを持つ真法会研究室の特色の一つです。



P13あとがき



真法会研究室の最大の特徴である強い「縦のつながり」と「横のつながり」はみなさんの法曹への道筋を照らす助けとなり、また一生の財産になるでしょう。

みなさんが真法会研究室の一員となり、ともに切磋琢磨する日が来ることを室員一同心待ちにしております。

☘ Thank you for reading ☘

P14あとがき